

○5年 総合的な学習の時間「メディアとの付き合い方を考える」
 ○日時：令和3年9月10日(金) 5校時 ○場所：5年教室

1 単元設定の理由

(略)

本単元では、児童自らの生活の振り返りやメディア(オンラインゲームや動画投稿サイトの閲覧等)とどのように付き合い合っていくかを考えさせ、自律を促していく学習を進める。アンケート結果より、児童自らの生活を振り返ることで実態を把握し、どのような生活が望ましいか意識させる。具体的には、ルールを守るための工夫を考えさせたり、一日の時間の使い方を記録させることで使いすぎを見える化したり、友達と比較し話し合うことで自分の時間の使い方を振り返らせたりする。この活動を通して、時間を有効に活用するために、児童自らがどのような段取りをしていけばいいかを考えるなど、タイムマネジメントの力を身に付けさせたい。

本時では、他律的に決められたルールを守らせることからの脱却を目標とし、子ども達自身にルールを守るための工夫を考えさせる活動を通して自律を促していきたい。具体的には「守れない状況」を考え、どうして守れないのか、どうすれば守ることができるのかを話し合いながら、自分事として考えさせたい。そして、友達と意見を交流することで、共感しながら自律に向けてよりよいメディアとの関わり方を探っていききたい。

2 単元指導計画

時	学 習 内 容
1 (本時)	家庭での生活において、インターネットに関わるルールを破ってしまう状況を振り返り、ルールを守りやすくするための工夫を話し合う。
2	前時の内容を踏まえ、自分の生活習慣を振り返りながら、自分に合ったルールを決める。

3 本時のねらい

ルールが守れない状況を振り返り、ルールを守るためにはどのような工夫をすればよいか考えることができる。

4 学習過程(1/2時)

学習活動	○ 指導上の留意点 ※評価
〔課題をつかむ：5分〕 1 アンケートの結果や普段の生活を振り返ることで実態を把握し、本時の課題を捉える。 (学習課題) そのルール、どうすれば守ることができるのか。 〔原因を迫及する：15分〕 2 ルールを守ることができない状況を小集団で考える。 ・「どんな時ルールを破ってしまうのかな。」 〔解決方法を考える：25分〕 3 どうすればルールが守りやすくなるのかを班で話し合う。 4 各班で話し合ったことをまとめ、発表する。 5 感想や考えをまとめ、学習活動を振り返る。	○ 事前に行ったアンケートの結果を活かしてクラスの全体像を把握させ、児童自身の結果として捉えられるようにする。 ○ 止められないことが、将来的に依存症の原因なるかもしれないことを話し、自分自身のこととして受け止められるようにする。 ○ 自分がゲームや動画投稿サイトを閲覧している時、どのような状況だと止められなくなるのか、自分の生活で実際にあったことや起こりうることを考えるように意識させる。 ○ 小集団で話し合わせることで、各個人の意見や考えが出やすいようにする。 ○ 必要に応じて、ルールを守ることができる児童の工夫を引き出させるように、声かけを行う。 ○ 工夫はできるだけ具体的、日常生活で実行できるように働きかける。 ○ 話し合った内容をタブレットでまとめ、電子黒板を使って学級全体での共有化を図る。 ○ 児童の考えに変容が見られたり、具体的に振り返りをしたりしている児童を取り上げて、学級全体に紹介する。 ※ ルールを守るための工夫を具体的に考えることができる。(タブレット端末)

○3年 学級活動「その情報、しんじていいの？」

○日時：令和3年12月3日(金) 5校時 ○場所：3年教室

1 題材設定の理由

本学級の児童は、これまで本を活用したり、インタビューしたりすることを中心に調べ学習を行ってきた。しかし、国語科の「仕事の工夫、見つけたよ」や「すがたをかえる大豆」、総合的な学習の「受け継ごう福田の伝統(福田十二神楽)」では、本だけでは必要な資料が見つからないことがあり、インターネットの情報を活用して調べ学習をする経験をしてきた。ほとんどの子が検索の仕方ができると答えているが、必要な情報がなかなか見つからなかったり、検索結果の一番最初に出てくるサイトだけで満足してしまったり、そのサイトの一部だけでまとめてしまったりすることが見られた。さらに、アンケートの結果によると、7割の児童がインターネットの情報は正しいと思っている。

本題材では、実際に情報を比較し、「すべて正しい情報とは限らない」ことを理解させる。さらには、ここで理解したことを今後の学習に生かせるように、調べ学習の際にはくり返し指導していく。今後、あふれるほどの情報の中から、自分の責任で情報選択をし、責任のある情報発信ができるようにさせる。

本時では、まず、絵本を活用してクイズを出し、一面だけの情報では正しい情報を導き出せないということに気付かせたい。次に、同じテーマで調べたインターネットの情報を比較し、その違いに気付かせる。実際に確かめることで、1つのサイトだけでは情報が足りなかったり、古い情報だったりして、「すべて正しい情報とは限らない」ことを実感させたい。さらに、正しい情報を自分で見つけ出す方法を考えさせ、自分で情報を選択する意識を高めていきたい。

2 本時のねらい

インターネット上に公開されている情報は、「すべて正しい情報とは限らない」ことを知り、自分の責任で確かめながら情報選択をしなくてはならないことを知る。

3 学習過程

学 習 活 動	○指導上の留意点 ※評価
<p>1 本時の課題を把握する。</p> <p>(1) 絵本「七ひきのねずみ」からクイズを出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あかのねずみ→はしら ・みどりのねずみ→くねくねへび ・しろのねずみ→？ <p>(2) ねずみたちが、なぜ、まちがった情報を伝えてしまったのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一カ所しか見ていないから ・ねずみが小さかったからそれしか見えなかった。 	<p>○ クイズ形式にすることで、興味を向けさせる。</p> <p>○ 象を情報と見立て、その一部しか見ないと正しい物が見えなかったり、間違っただけの情報を伝えてしまったりするという本時の課題につなげる。</p>
<p>(学習課題)</p> <p>インターネット上の情報は、みんな正しいのかな。</p>	
<p>2 情報を実際にくらべる。</p> <p>(1) テーマ「あんこ地蔵の祭りを見に行こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料A 8月23日 ・資料B 8月のお盆後の日曜日 <p>(2) テーマ「鹿狼山の由来について調べよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料A 言い伝え ・資料B アイヌ語から ・資料C 伝説ではなくアイヌ語から <p>(3) 正しいか見分ける方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成された日付 ・だれが作ったのか ・何を参考にしたのか ・連絡先はあるのか 	<p>○ グループごとに調べる資料を1つにすることで、どちらかが正しくないということを実感させる。さらには、1つだけの資料では間違っている可能性があるということも実感させる。</p> <p>○ どちらも信用できるサイトであるが、作成された日が違うことに気付かせる。</p> <p>○ グループごとに2つの資料を調べた結果、全く違う情報に出合うことにも気付かせる。</p> <p>○ 何を参考にしたか、作成者や連絡先が明記されているかにも目を向けさせることで、自分で見分けなければいけないことへの意識を高める。</p> <p>○ インターネット上の情報を確認するために書籍や詳しい人など、別の媒体で確認することもあることを知らせる。困ったときには先生に相談することも知らせる。</p> <p>○ 感想を交流させることで、自分の考えを明確にさせる。</p> <p>○ 本時でわかったことと情報を選ぶときに大切にすることを自分の言葉でまとめさせる。</p>
<p>3 学習のまとめをする。</p> <p>インターネットの情報には、正しくないものもあるので、いくつかのサイトで調べて、正しい情報を選ぶようにする。</p>	<p>※ インターネット上にある情報は、いつも正しいとは限らないことを知り、情報の真偽については自分の責任で判断することが大切であることが分かる。</p> <p>(ワークシート・発表)</p>